

活動名	特定非営利活動法人 ながのこどもの城いきいきプロジェクト	
	団体名称	ながのこどもの城いきいきプロジェクト
	活動テーマ	子どもの健全な育成を支援する活動
居場所の運営を通じた子育て・子育て支援		活動の目的
		④子どもの居場所づくり
■活動結果（概要）		■実施スケジュール結果
1 運営委員会の運営：カフェの運営について協議した。 2 子育て中の保護者の居場所：おしゃべり会、イベント（ミニ講座等）を交互に開催し、定期的に5～6人の参加があった。 3 こどもカフェ（学習支援）：高校生や地域住民を中心としたボランティアが関わり、学習・遊び等、子ども達にきめ細かな対応ができた。 4 こどもカフェ（食事支援）：学生、地域の方々、フードバンク等からの食材提供により、栄養バランスに配慮した食事が提供できた。 5 ティーンズかふえ：積極的な声かけと環境づくりに心がけた。		2017.8～隔月 2017.8～随時 2017.9～2018.8 2017.3.8 2017.4.1
		■各スケジュールごとの活動内容
		【運営委員会の設立・運営】4回開催 【広報・募集体制の整備】小学校2校・各校4回チラシ配布、中学校1校・1回 タウン誌広告掲載・3回、記事3回掲載 【ながのこどもわくわくカフェの運営】①子育て中の保護者の居場所の運営 24回、②こどもカフェの運営 24回開催、学習支援・食事提供・悩み相談、③ティーンズかふえの運営 12回開催 【市民講演会】「メディア漬けの子ども危機」 【ながのこどもわくわくカフェスペシャル】「けん玉教室」の開催
■活動目標	様々な悩みを持つ保護者や子ども達が気軽に通い、「相談や交流」「学習支援」「食事の提供」等が受けられる居場所をつくり、地域、行政、専門機関と連携して運営を行うことによって、子ども達が健やかに成長できる環境・体制・ネットワークを形成する。	
■長期成果	1 子育て中の保護者や子ども一人一人のニーズに合った支援を行うことができ、孤立を解消し、負担の軽減が期待される。 2 学童期以降の子どもは、社会性が育まれ、食事や家庭学習もある程度満たされることによって、将来への展望も開け、自信を持ち、「自己肯定感」を持って健やかに成長していくことができる。	
活 動 風 景		
 <p>< 4月17日 ぴーかーぶー> ヤングママのおしゃべり会（5組の親子が参加）</p>	 <p>< 4月17日 学習支援> 勉強の後のお楽しみ、これが楽しい！（8人参加）</p>	  <p>< 6月19日 食事支援> 肉みそうどん、あじさいゼリー 栄養士養成校のお姉さん達が調理(25名参加)</p>
■得られた成果と今後の課題	■受益者や地域社会の変化	■得られたノウハウの共有・発信
<p>《子育てサロンぴーかーぶー》 子育て中の保護者の癒し、エンパワーの場となり、拠点型広場への参加につながった。個々のニーズ把握、必要な人への支援が課題。</p> <p>《学習支援》 参加者のリピーター率69.6%、初回から継続している出席率90%以上の子どもも数人いる。個への対応に心がけ、来たから勉強ができるようになったと実感できるよう対応していきたい。</p> <p>《食事支援》 「満足・やや満足」100%、「大勢で食べると楽しい」「家では食べないものも食べられる」等子どもや保護者にとって楽しみの時間となっている。また、食材提供はフードバンク信州、JAながの、住民からと確保ルートができた。</p> <p>《ティーンズかふえ》 積極的な声かけの結果、いろんな話題が出てきたので、相談しやすい場づくりが課題。</p>	<p>・アンケート調査で学習支援に参加している71.4%の子どもは「勉強が楽しくなった」と応え、また、楽しかったこととして「みんなと遊べて楽しい」「様々な人との交流」「いろんな人に勉強を教えてもらえること」とし、子どもに向上心や社会性がはぐまれてきていると考える。</p> <p>・活動に参加しているこどもや保護者の口コミから、カフェの学区の子どもたちの参加が増えてきている。 また、地域住民のボランティアとしての参加希望も増え、地域の居場所として認知されてきていると思われる。</p> <p>・ぴーかーぶーは、初めての子どもを育てている保護者にとって、2、3回通い他の参加者や先輩ママの話を聞き、不安感や負担感が軽減されたり癒され、次の支援の場へとつながる場として定着してきている。</p>	<p>・こどもカフェ食事支援において、フードバンク等から提供された食材を用いて、栄養バランスに配慮した献立作成、調理、提供された食事は、参加した子ども・保護者・ボランティアに大好評で、リクエストされる献立も多い。提供された食材ごとにレシピをまとめ、他の子ども食堂等にレシピ集として提供していきたい。</p> <p>・市民公開講座「メディア漬けの子ども危機」を開催し、スタッフ、ボランティアのスキルアップと共に、市民と現在の子どもが抱える課題について学習し、情報の共有の機会を設けた。</p> <p>・わくわくカフェスペシャルとして、サラリーマンけん団 damassyと連携し、市内の子ども達に遊びの伝承「けん玉教室」を開催し、大勢の親子連れの参加を得た。</p>
〒 381-0043 （住所）長野市吉田1-7-4 （団体名）特定非営利活動法人ながのこどもの城いきいきプロジェクト （ホームページ）：http://www.na-kodomo.com	助成金額 700,000円 助成期間 H29.9.1～H30.8.31	

※長期成果とは、活動目標に向かって継続的な事業を進める中で将来得られる活動成果とします。